



協議会の活性化などについて話し合った
平成25年度総会=焼津市内のホテルで

世界連邦宣言自治体全国協議会（会長、山崎善也・綾部市長）の平成25年度総会は7月26日、静岡県焼津市で開催。世界連邦・平和運動の推進に向けて関係機関・団体の連携強化を図ることなどを盛り込んだ事業計画や、協議会の活性化に向けた役員体制の改編などを承認しました。また研修で加藤一夫・静岡福祉大学名誉教授の講演を聴いた後、懇談会を開き情報・意見の交換を行いました。

今回は、加盟自治体の議会にも案内。12自治体から首長や正副議長、関係職員、来賓

ご協力ありがとうございました

世界平和・難民救済募金に650余万円

当協議会が全国の自治体に協力を呼びかけて実施する「世界平和と難民救済のための自治体職員1人100円募金」に、平成24年度は156自治

体から計6,526,341円に上る善意をお寄せいただきました。ご協力いただいた職員の皆さま、また事務をお執りくださった担当の方に厚く感謝申し上げます。

これらは募金の趣旨に沿つ

金を有効活用し、協議会加盟店の世界連邦関係事業や中東和平のための取り組みの支援に充当。加えて、今年11

月に大阪で開催される世界連邦日本大会に参画するなど世界連邦関係団体間の連携を密にするとほか、平和首長会議など自治体で構成する関係団体との連携強化など。前年度に新規作製したりーフレットを活用するなどして世界連邦の理念や協議会活動の周知・紹介に努めます。

また世界連邦推進事業交付金を有効活用し、協議会加盟店の世界連邦関係事業や中東和平のための取り組みの支援に充当。加えて、今年11月に集約することで運営組織の体制も改編しました。平

て、世界連邦の推進や中東和平に向けた事業に充てる基金に積み立てたほか、国連UNHCR協会と日本ユニセフ協会に50万円ずつ寄託し、差し引き約30万円は次年度の募金経費として繰り越しました。

募金は本年度も例年どおり年明けにご案内する予定です。ご協力をお願いいたします。

島市で開催することを決めました。詳細が決まり次第ご案内いたしますので、多数ご出席くださいますようお願ひいたします。

いま、一つの世界を

自治体協新聞

発行
世界連邦宣言自治体
全 国 協 議 会
(事務局=京都府綾部市)
〒623-8501綾部市若竹町8-1
TEL(0773)42-3280
FAX(0773)42-4905



新調した啓発リーフレット

次期開催地は広島

世界連邦宣言自治体全国協議会はこのほど開いた総会で、次期・平成26年度の総会を広

島市で開催することを決めました。詳細が決まり次第ご案内いたしますので、多数ご出席くださいますようお願ひいたします。

島市で開催することを決めました。詳細が決まり次第ご案内いたしますので、多数ご出席くださいますようお願ひいたします。

役員体制の改編も

【副会長】 邑上守正（東京都綾部市）
【会長】 山崎善也（京都府

成田市）▽竹内俊夫（東京都青梅市）▽稻葉孝彦（同小金井市）▽加藤育男（同福生市）▽梶文秋（石川県輪島市）▽山本正（京都府宇治市）▽井戸敏三（兵庫県）▽矢田立郎（神戸市）▽松井一實（広島市）▽野志克仁（松山市）▽石川勝行（愛媛県新居浜市）

【監事】 高野之夫（東京都豊島区）▽栗山正隆（京都府亀岡市）

世界連邦推進事業交付金

青梅市「ヒロシマ親子派遣」

当協議会の世界連邦推進事業交付金は本年度、青梅市のヒロシマ親子派遣事業に50万円を充てました。



京丹後で「中東国際交流P」

当協議会が支援する中東和平への取り組みが3年ぶりに京都府京丹後市で行われ、500万円を交付しました。

「中東国際交流プロジェクト in 京丹後」で、イスラエルとパレスチナから各5人の紛争遺児らを招き、8月8日から13日まで滞日。ホームステイや多彩な交流事業のほか首

当協議会が支援助する中東和平への取り組みが3年ぶりに京都府京丹後市で行われ、500万円を交付しました。

イスラエル・パレスチナと京丹後の高校生が記念品を交換



相訪問も体験するなどし、次代の和平を担つていく意識を新たにしました。

紛争と混迷が続く中東の和平実現は世界の平和に通じるという理念に基づき、当協議会が資金援助する形で全国各地をめぐって取り組まれています。

吉備中央町が新規加盟

岡山県の吉備中央町がこのほど、当協議会に新たに加盟しました。

同町は、旧賀陽町と旧加茂川町（ともに世界連邦宣言自治体）が合併して平成16年に

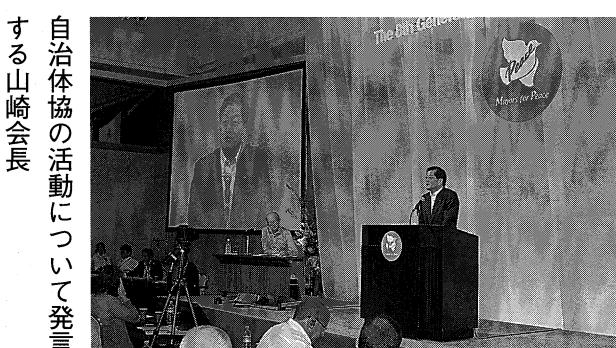
翌宣言自治体の加盟促進を呼び掛ける調査を年度当初から行う中、同町から加盟の申し出があったもの。

当協議会では引き続き、自

当協議会の記録にある世界連邦宣言状況の確認と、未加

組みで、広島の原爆関連施設の見学や平和祈念式典への参加を通じて、核兵器の恐ろしさと戦争の悲惨さ、平和の尊さを感じてもらうねらい。作文審査と面接を経た親子3組が8月5日から3日間、被爆地を訪れ、市民から託された折り鶴9万羽を届けるなどして交流・体験をしました。

申請は前年末までに



平和首長会議で自治体協PR

平和首長会議の総会が8月3日から6日まで広島で開かれ、山崎善也・綾部市長は世

界連邦宣言自治体全国協議会長として、中東和平プロジェクトを中心に自治体協の活動紹介を行いました。

同会議には世界157か国・地域から5712都市（うち国内1360都市）が加盟。8月1日現在。4年に一度の総会には今回、内外157都市から計約300人が参加し、核兵器のない世界の実現を目指して活発な議論が展開されました。

自治体による世界連邦宣言の実施と、宣言自治体の当協議会への加盟を呼びかけています。

当協議会では引き続き、自

治体協の活動について発言

する山崎会長

度額は500万円としています。財源は世界平和・難民救済募金などを積み立てた基金から拠出。

交付申請は事業実施年度の前年12月末までに所定の書類を提出することになります。利用を検討している場合は早めに事務局にご連絡・ご相談ください。